

●大館地区多目的ドーム(仮称)●

屋根の骨組みは来年3月から

市議会九月定例会が招集された九月六日、小畑市長が行政報告をしました。その中から主なものの要旨をお伝えします。

なお、今定例会で審議された議案等については、十月一日号でご報告します。

第3次大館市総合開発計画 後期計画の策定について

第三次大館市総合開発計画は、平成三年度から平成十二年度までの十年間を計画期間と定めて策定しています。この構想を具体的に実現するため、三年度から七年度までを前期五カ年計画として実施してきましたが、今年度でこの前期基本計画が終了します。そこで、八年度を初年度とし、十二年度までの五年間の後期基本計画を今年度中に策定するための作業を進めています。

策定方針としては、現行の総合開発計画の前期基本計画との継続性を保ちながら、五つの主要施策の都市像に沿って、社会・経済等

の変化を考慮し、ハード面では各種プロジェクトの推進、ソフト面ではこれらの施設の利活用等施策の充実と、将来を担う人材の育成、行政改革の推進等を重点として取り組むたいと考えています。

この計画の策定のための組織として、平成七年七月三日に、庁内に後期基本計画策定会議及び五つの専門部会を設置、七月十七日には十八の策定委員会を設置しており、現在、各策定委員会で基本計画の見直し作業に入っています。また、来月にはこの後期基本計画に市民の意見を反映させるために市民懇談会を組織し、この懇談会の意見を聞きながら三月までに後期基本計画を策定しますので、皆さんのご理解とご協力をよろしく願います。

大館地区多目的ドーム(仮称)

工事の進ちよく状況について

大館地区多目的ドームは、平成九年六月三十日の完成を目指して去る七月六日に安全祈願祭が挙行されて以来、約二カ月が経過しました。仮囲い工事や敷地内仮設道

路工事、根切り工事を皮切りに、アリーナや集材材ストックヤードの地盤改良を行い、百八十本の杭工事も終了しました。工事は順調に推移していると伺っています。



再来年の夏には、こんな姿が見られます

現在には内外野スタンド部の根切り工事が行われており、その後、基礎コンクリートの打ち込みが行われます。また、屋根の骨組みとなる集材材トラスの組み立ては来年三月ごろ、屋根の膜張り工事は来年五月ごろ開始される予定です。

一方、市で施工する周辺整備についてはドームと同時期に完成する予定です。現在実施設計を委託しており、着工は八年度となる予定です。また、アクセス道路については現在用地測量を実施しており、用地買収が終了次第工事に着手したいと考えています。

なお、完成後のドームの活発な利活用の推進等については、現在「大館地区多目的ドーム(仮称)利活用推進部会」で積極的に調査・検討を進めています。大館市体育協会や大館商工会議所、大館市まちづくり協議会などでも独自に検討されていると伺っています。

大館能代空港

ターミナルビルについて

大館能代空港の建設工事は昨年十月に起工式が行われ、工事も二年目に入っています。現在、工事は本体工事、付け替え道路工事、調節池築造工事などが行われ、七年度事業における進ちよく率は五九%と、順調に進んでいると伺っています。

さて、空港の顔となるターミナ